

とうごう 議会だより



真心を込めて

2018年 (平成30年) 第 126 号

2月1日 発行

	ページ
■12月定例会	2
■議案審議の結果一覧	2
■一般質問	6
■委員会の活動	13
■議会の活動	15

平成30年4月から

老人クラブ活動拠点がいこまい館に移転

平成
29年度

東郷町一般会計補正予算可決!

平成29年第4回定例会（12月議会）が11月30日から12月20日まで、21日間の日程で開催されました。

12月議会では平成29年度一般会計補正予算をはじめ、条例の一部改正案等17議案が上程されました。

その他、専承1件、請願3件、陳情3件、意見書1件の審議結果は下記の一覧表をご覧ください。

議案審議の結果一覧

12月定例会

議案名	審議結果	石橋直季	國府田さとみ	新家光江	西尾隆男	加藤達雄	いしゆみ	加藤宏明	若松孝行	水川淳治	井俣憲二	加藤啓治	近藤鑛治	若園ひでこ	門原武志	箕浦克巳	星野靖江
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町使用料及び手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
東郷町母子及び父子家庭医療費支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
尾三消防組合を組織する地方公共団体の数の増加及び尾三消防組合規約の変更について	可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
公の施設の指定管理者の指定について（東郷町民会館）	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
公の施設の指定管理者の指定について（東郷町総合体育館等）	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定について（東郷町民交流拠点施設「イーストプラザいこまい館」）	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定について（東郷町ふれあい広場）	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定について（樹池親水公園）	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度東郷町一般会計補正予算（第3号）	可決	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度東郷町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度東郷町国民健康保険東郷診療所特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度東郷町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度東郷町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【専承】平成29年度東郷町一般会計補正予算（第2号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【請願】「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める請願	不採択	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×
【請願】安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願書	不採択	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×
【請願】介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書	不採択	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×
【陳情】東郷町老人憩の家の在り方に関する陳情書	不採択	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×
【陳情】東郷町老人憩の家の存続を求める陳情書	不採択	×	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×
【陳情】陳情書「商工会を中心とした地域商工業振興に対する支援体制の拡充」	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【意見書】「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書	否決	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×

東郷町使用料及び手数料
条例の一部改正について

(賛成多数で可決)

反対

多くの介護事業所が、介護報酬の引き下げや人手不足により厳しい経営を強いられている。そのような中で新たに、認可申請時に3万円、更新時には1万円の手数料を課すべきではない。

(門原武志 議員)

尾三消防組合を組織する
地方公共団体の数の増加
及び尾三消防組合規約の
変更について

(賛成多数で可決)

反対

分担金は当面は常備消防の経常経費の決算額に依拠して出すが、消防署所が1つだけの長久手市の経常経費は少なく、応分の負担か。その後は分担金の算出方法も未定で、各市町の合計が30億円とすると1%の違いは300万円。

(門原武志 議員)

賛成

尾三地区は今年も人口が400人増加し発展著しい地区。大規模災害や火災に対応するためには組織を集約し、広域管理が必要である。今回の広域化は32万住民の安心・安全を保持するためにも不可欠であり賛同する。

(加藤宏明 議員)

消防の広域化は将来的な観点から人口の推移や高齢化率、さらには都市機能の高度化も含め、消防・救急の需要が高まる懸念がある。広域化に伴い災害時の初期体制業務の明確化や医療機関とのスムーズな連携に期待する。

(星野靖江 議員)

公の施設の指定管理者の
指定について(東郷町民
会館)

(賛成多数で可決)

反対

図書館奉仕も引き続き指定管理者に委ねること
に反対。同じ会社が引き
続き管理するが、他社が

選ばれた可能性もある。図書館は町の歴史・文化を次世代に引き継ぐ。文化継承の断絶を招くようなことがあつてはならない。

(門原武志 議員)

今回の一般質問の中で町が税金を使った民間の東郷町施設サービス(株)について質問。町民からは、町との関係が分かりにくい。債務負担行為5年間について2年以上に渡る場合義務負担の年度別の負担額が明確に説明なし。

(いしいゆみ 議員)

※詳しい議員は、以降4件の指定管理者関連議案に対して、同内容の討論を行いました。

賛成

本町の特性を踏まえた運営ノウハウを蓄積しつつも利便向上にさらなる取り組みを続ける企業で、多くの町民が期待している。今後も町民の、町民のための公共施設を、町民と共に満足享受できる運営を求め賛成。

(水川 淳 議員)

公の施設の指定管理者の
指定について(東郷町総合
体育館等)

(賛成多数で可決)

賛成

指定管理候補者は、長年に渡る実績とノウハウを活用し多種多様な事業が実施でき、多様化する住民ニーズに対し「スポーツができる場や機会を増やし」運動・スポーツを実施する住民の増加が期待できることから賛成する。

(近藤鑛治 議員)

公の施設の指定管理者の
指定について(東郷町町
民交流拠点施設「イース
トプラザいこまい館」)

(賛成多数で可決)

賛成

選定委員会の審査では、過去の公募時よりも高い評価であったとのこと。みんなの健康づくりの拠点となる運営、本町健康づくり事業のさらなるブランド力強化、世代を超えた新たな交流が生まれ

る事業を期待したい。

(石橋直季 議員)

公募の結果、万一、別の会社を選ばれたら、これまでの運営ノウハウが生かされず、東郷町施設サービス(株)の経営も危うくなるどころだった。町が出資し副町長が取締役を務める同社には透明性を持った運営を期待する。

(門原武志 議員)

指定管理者制度って何?

(議案「公の施設の指定
管理者の指定について」)

公共施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図り、経費の節減等を図ることを目的とした制度です。

本町では町民会館、いこまい館などの施設の指定期間が本年度で終了することから、平成30年4月〜平成35年3月まで指定管理を行う事業者の選定について、12月議会で議決しました。

公の施設の指定管理者の指定について（東郷町ふれあい広場）

（賛成多数で可決）

賛成

役場を中心に隣接する公共施設群は、本町の誇る財産である。その中のふれあい広場は駐車場、トイレ、休憩所、花壇等多目的の公園で、公共施設を訪れる町内外の人々の心安らぐ憩いの場。一括管理するメリットに、大いに期待したい。

（加藤達雄 議員）

公の施設の指定管理者の指定について（榎池親水公園）

（賛成多数で可決）

賛成

親水公園はテニスコートと同時に平成5年に設置。25年度以降は周辺一帯を快適に利用できるよう鋭意努力した結果と判

断する。緑豊かなまちの憩いの場となるよう施設の利用促進と安全な管理運営に期待する。

（星野靖江 議員）

町道路線の廃止について

（賛成多数で可決）

反対

伊勢木1号線は、学生など通学に利用する。1日のデータもとってない。既存の回避の道の道もトラックなどの交通量より増える。大変に危険。安心安全の自転車を通れる飯の道もない。

（いしづみ 議員）

平成29年度東郷町一般会計補正予算（第3号）

（賛成多数で可決）

反対

老人憩の家の機能移転

等工事費が約230万円。老朽化し耐震性がない老人憩の家の修繕には500万円以上かかるというが、解体費用は未検討なので費用対効果すら分からない。図書館の指定管理にも反対。

（門原武志 議員）

いこまい館は、町民交流や健康の施設である。様々な人が利用している。アルコールは、厳禁。カラオケは、高齢者だけでなく空気が子育てでも利用できるように。町民会館の陶芸窯は、1、2階に別れ作業しにくい危険。

（いしづみ 議員）

※イーストプラザいこまい館では、酒類の摂取は禁じられておりません。

老人憩の家の管理事業並びに町民会館管理事業に関わる補正は、老人憩の家における現行の陶芸クラブの活動も含む全活

動を、既存施設の耐震・修繕改修により存続し、実現までの一時的な機能移転を含む内容とすべき。

（國府田さとみ 議員）

賛成

今補正予算は、老人憩の家の機能移転費を含む重要案件である、施設の整備には楽しみ多き新拠点にすべき協議が重ねられた。いこまい館と隣接公共施設の利用も可能となり老人クラブ活動の拡充につながるものと大いに期待したい。

（加藤達雄 議員）

老人クラブ専用室は町の中心部で各種公共施設も利用できる。世代間でも交流の輪が広がり新たなパワー・世代連鎖も生まれる。住民一人一人が考え行動する時代、各世代のスマートシティ構想で本町を盛り上げたい。

（加藤宏明 議員）

「老人憩の家」閉鎖により陶芸室の機能移転する予算181千円が計上されている。この事は、文化協会陶芸部をはじめ、子供から高齢者まで幅広くごなたでも陶芸が楽しめる、新たな施設になると期待し賛成する。

（近藤鑛治 議員）

国・県からの補助金等、速やか・適当な手当の必要がある補正予算に、委員会でも何ら代案を言わず、見解も示さず一切を否決判断した当該委員の責任は如何か。老朽化した憩の家の対策着手の端緒たる機能代替も含め賛成。

（水川 淳 議員）

補正予算（案）は、単に一般会計だけにとまらず、町政全体に大きく影響を及ぼす重要案件である。またいこまい館に老人クラブの活動拠点が移されることは世代を超えた交流が、さらに発展

していくものと期待する。
(箕浦克巳 議員)

請願

「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める請願

(賛成少数で不採択)

賛成

多くの介護施設が人材の確保に苦慮する中、介護労働者の賃金水準や人員配置基準を引き上げ、介護労働者の処遇改善を図ることは、持続可能な介護制度のために必要。介護報酬引き上げのため国の財政負担の引き上げを。
(門原武志 議員)

反対

受け止めるべき内容も含まれるが、そもそも労

(賛成少数で不採択)

請願

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願書

働環境全般にわたる課題。財源確保やプライオリティを考えなければならぬ。働き方改革など国も動き始めた中、特定の職種のみ優先するのは判断が難しく賛成できない。

(水川 淳 議員)

賛成

患者・介護利用者が安心して医療・介護のサービスを受けられるために、医療・介護の労働環境の改善が必要。しかし十分な看護ができないという看護師の実態があり、医師・看護師・医療技術職・介護職の増員を。
(門原武志 議員)

高齢化が進み医療や介護の現場は、大変になっている。私も介護ヘルパーの経験もありその過酷さも理解している。ますます増える患者をより安全・安心の医療・介護を求める事は、大切だと考

えるので賛成する。
(いしいゆみ 議員)

請願

介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書

(賛成少数で不採択)

反対

議会が請願を採択するとは、その願意を汲み取り、請願事項を実現させるために行動し、経過を観察する責務を議会として負う決意表明である。限りある財源の中、実現が相当困難な「総花的」請願を採択すべきではない。
(石橋直季 議員)

賛成

請願提出者の自治体キヤラバンは、毎年、県内全自治体に、介護・福祉・医療などの拡充を求め当局と懇談し、福祉施策の拡充に大きな影響を及

ぼしている。請願項目が多岐に渡るが、国保税の負担軽減などは喫緊の課題。
(門原武志 議員)

陳情

東郷町老人憩の家の在り方に関する陳情書

(賛成少数で不採択)

反対

老人憩の家の持つ意義・目的と、文中にある、クラブ活動が充実できる拠点施設の必要性には同意・共有するが、今までの以上に意義・目的が達せられる施設提供であれば現存の施設でなくともご理解が得られると考える。
(水川 淳 議員)

(水川 淳 議員)

いこまい館に機能移転案は新東会、公明党、日本のごころの3会派合同で当局に強く要望し、老人クラブや利用者にも概ね理解いただいた。改修

や新築することはコストや、利用者数など総合的に考えると、現実的でない。
(箕浦克巳 議員)

賛成

陳情者が老人憩の家の機能のいこまい館への移設に納得したとのことだが、その後も陳情書は撤回されていない。陳情の願意を受け、いこまい館への機能移転後も、現在の老人憩の家の耐震改修はすべきだ。
(門原武志 議員)

(門原武志 議員)

老人憩の家の今後の管理のあり方としては、既存施設の修繕・改修を以て現行の諸活動を存続し、それまでの一時的な機能移転を考慮したものであるべきだと考える。正にこの陳情が求める内容と全く一致する事から賛成。
(國府田さとみ 議員)

(國府田さとみ 議員)

※「一般質問」とは、議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策議論です。

- ①新家 光江 ・本町におけるウォーキング施策について
・公園のあり方について
- ②いしいゆみ ・道の駅について
・東郷町施設サービス株式会社の決算状況について
・障がい者の就労支援について
・介護総合事業について
- ③若松 孝行 ・「いじめ」と「不登校」について
・老人憩の家について
- ④石橋 直季 ・都会のオアシス（道の駅）について
・いこまい館水中トレーニング室の水質管理について
- ⑤近藤 鏡治 ・老人憩の家移転について
・ボートの取り組みについて
- ⑥水川 淳 ・東郷町の農業の未来について
・全国高等学校総合体育大会ボート競技大会（インターハイ）について
- ⑦星野 靖江 ・地方自治体の今後の課題と方向性について
・地域共生社会と誰もが支え合えるまちづくりについて
・豊かな自然の恵みを活かした都市デザインについて
- ⑧箕浦 克巳 ・待機児童の抑制について
・就学支援について
・町体育施設のトイレの状況について
- ⑨加藤 宏明 ・本町の不動産全般について
・減災害の取り組み全般について
・尾三消防組合の広域化について
- ⑩加藤 達雄 ・諸輪東部開発の現状について
・総合事業関連について
- ⑪國府田さとみ ・給食におけるアレルギー対応について
・学校教育における主権者教育について
・メディアリテラシーについて
- ⑫門原 武志 ・道の駅整備について
・AEDの整備について
・消防広域化について
・国民健康保険の県単位化について



Q：ウォーキングマップを作成する考えはないか
A：新規作成するより既存マップの活用を考える

..... 新家 光江 議員

【問】他市町には大変興味があるが如何か。
 【健康部長】健康課ではウォーキング自体の有効性について啓発・推進を行っていることと考えている。皆様が新しいコースマップを考えられたら、紹介していることと考えている。
 【問】本町には境川河川敷という素晴らしい場所がある。環境整備をし、利用者を増やすと良いと考える。提案例として一定の距離ごとに消費calも載せた表示板の設置、桜の植樹、彼岸花や水仙等の球根を植えるというような



日進市のヘルピーウォーキングマップ

整備があるが如何か。
 【経済建設部長】距離表示は設置したが、現在は多くが無くなったので改めて検討する。桜の植樹は、引き続き研究していく。その他提案は今後の参考にする。
 【公園愛護会について】
 【問】助成金から報奨金に変えた理由は。
 【経済建設部長】事務負担軽減等の改善要望を受け、手続きの簡素化を図った。

Q：東郷町施設サービス(株)の純利益は
A：8,278,000円



いしい ゆみ 議員

東郷町施設サービス(株)の28年度決算

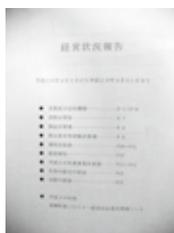
【問】 総収入と総支出は
【企画部長】 会社法に基づきHPでの経営状況報告書から総収入は、4億958万7千円、総支出は4億875万9千円、純利益は、82万8千円。
【問】 正規雇用と非正規雇用の人数と人件費の総額は、いかがか。
【企画部長】 正規雇用は30名、非正規雇用は、90名、人件費総額約2億480万円。
【問】 東郷町からの委託件数と金額はいかがか。
【企画部長】 委託は、54件、6977万円。
【問】 その他、独自の収入は、どのようか。
【企画部長】 大治町トシ

ーニング室管理運営委託、名古屋市名東スポーツセンター業務委託、碧南市介護予防事業委託等。

【問】 法人税や消費税等は、どうか。
【企画部長】 会社の損益計算書による法人税、住民税、事業税は、231万1千円。消費税は、656万円。

【問】 純利益の配当は、
【企画部長】 サービスと

いう形で還元。配当と
 いうことも考えていると認識している。



「東郷町施設サービス(株)経営状況報告書」HPより

Q：「老人憩の家」活動移転先の改修完了はいつ
A：新活動先「いこまい館」改修は3月完了予定



若松 孝行 議員

【問】「老人憩の家」の機能移転計画について、老人クラブからの意見聴取は、老人クラブの誰から、どのような方法で、どのように行ったか。
【福祉部長】 老人クラブ連合会の会長を始め、副会長、会計の役員に

まずは説明を行い、意見を伺った後、了承を得た上で、各地区の地区会長が集まる老人クラブ連合会の定例会で説明を行い、意見をいただいている。また各地区のクラブ員への意見聴取は、直接行ってはいないが、定例会では地区会長がクラブ員から吸い上げた意見・要望なども多く出されている。

【問】 老人クラブからはどのような意見があったか。
【福祉部長】 賛否両論がありました。最終的には、既存施設を羅列

しただけの代替案ではなく「新たに老人福祉施設を建てる、あるいは、いこまい館の一部が憩の家の代替になるように、改修するなど具体的な案を出してほしい」と、強く要望された。



老人憩の家



**Q：民間提案のみで道の駅基本方針を満たすか
A：十分でない部分は本町からも提案を行う**

石橋 直季 議員

【問】10月に選ばれた民間提案上位3者のみで基本方針を満たしているか。

【経済建設部長】民間提案のみでは十分ではないと思われる部分があった。今後、各者と対話を重ねながら、1位をベース案として2位、3位の提案を一部組み込んだり、町独自の提案の追加を行ったりしていく。

【問】基本方針5項目のうち、具体的にはどこが足りなかったか。

【経済建設部長】基本方針の「子どもが楽しめる場を充実」「高齢者の生きがいを創出」という観点では十分でないと考えている。利用者自ら主体的に活動し積

極的に関わることで楽しさを見つけていける施設とするため、本町からも運営面における提案や施設の追加等を行なっていく。

【問】明確な喫煙スペースを設けたり、駐犬場等を設置してペット同伴者が利用しやすくなり、計画段階から誰もが利用しやすく共生できる環境づくりが必要だと思いがいかがか。

【経済建設部長】利用する全ての方が快適に過ごせる環境整備を検討していく。



地域振興施設に関して民間事業者と対話が行われている

**Q：「老人憩の家」を休止し、どこに移転するか
A：活動拠点を「いこまい館2階」とする提案**

近藤 鑛治 議員



【問】老人憩の家移転に伴う調整は。

【福祉部長】建物の老朽化や耐震工事の必要性、安全面の問題等から憩の家は休止する。活動拠点を「いこまい館」2階を一部改修し占有できる部屋を設ける。平成30年度から活動できるようにする。

【問】老人クラブ連合会からの要請書の回答は。

【福祉部長】いこまい館を一部改修し、老人憩の家に替わる新たな老人クラブの活動拠点としてこれまでも同様、高齢者が集い親睦を深め、生きがいや健康づくりの支援に必要な機能を持つ施設としていく。また、老人憩の家を改修又は新築する考

えは現在ない。

【問】施設の利用機能は、現施設と比較しどうか。

【福祉部長】広さや自然環境等の違いはあるが、活動拠点を中心に町民会館、体育館等を活用した活動の幅も広がれる。健康課や地域包括センター・調理室の利用等についても、新たな効果が期待できる。

*その他、ボートの取組みについて、関連備品の充実・ボート桟橋修繕等の質問もしました。



現在利用の建物「老人憩の家」

Q：今後新たな地産地消の取り組みは
A：産官学連携のブランド米「とうごう3号」



水川 淳 議員

【問】新規就農者の状況は。

【経済建設部長】新規就農に対する国の補助制度がはじまった24年度から現在まで3名いる。また今年度、東郷農産へ2名入社した。

【問】農学校修了者の農業への関わりは。

【経済建設部長】修了者のうち9名が農業に従事し、1名は認定農業者となり、農業委員もいる。

【問】特産品開発について。

【経済建設部長】今年度は新たにトマト酢の認定を進めているのとこと。今後は道の駅での販売や、道の駅に特化した特産品開発を商工会等と協力して進めて

いきたい。

高校総体ポート競技について

【問】PR活動について。

【教育部長】町内で開催されたイベントで、のぼり設置やチラシ・PRグッズ配布など幅広い活動を実施した。

【問】今後のPR活動は。

【教育部長】商業施設への協力依頼や公用車へのステッカーなどによる活動を予定している。



文化産業まつりで来場者に配られたクリアファイル

Q：障がい者を安定的に支援するための取り組みは
A：社会福祉法人の設立に向けて支援をしたい



星野 靖江 議員

【問】障がい者の雇用が定着できる観点から就労に移行できる支援の取組みは。

【福祉部長】障がい者団体から就労者支援に関する福祉事業所を求め声もあり、事務所の誘致を進めたい。

【問】サポートハートマークは援助活動に有効。その普及啓発と支援は。

【福祉部長】誰もが援助できる社会を目指し、マークを広めるための方策を検討したい。

自然の恵みを生かした都市デザインを

【問】季節感あふれる歩きたい道の整備は。

【経済建設部長】区画整理事業にて景観や維持管理の点から安全で快

適な道路空間となるよう検討し進めている。

【問】農地保全対策は。

【経済建設部長】無秩序な開発抑制のため、農業振興地域整備計画を見直す予定である。

【問】住民サービスの多様化に対する職員の能力向上や健康管理は。

【企画部長】より高い専門性と業務量の増加傾向にあるが、意欲的に取組めるよう人材育成、業務の効率、健康保持等に努め、住民サービス向上につなげたい。



考案された「サポートハートマーク」



**Q：待機児童対策に企業主導型保育を
A：保育の拡大にメリット、積極的に情報提供**

箕浦 克巳 議員

【問】28年度に制度開始された企業主導型保育を推進する考えは。

【福祉部長】待機児童の

解消や地域貢献の役割も期待されるので連携していきたい。

【問】就学前児童数と3歳未満児数の状況は。また保育園の希望数は。

【福祉部長】2579人のうち

1240人が3歳未満児。入園希望は1084人で未満児は388人と増加している。

【問】待機児童数と未満児対策は。

【福祉部長】年度当初はゼロ、現在は4人。入園基準を見直し、育児休業返園した時の継続利用などで対応。

入学前に就学支援費を

【問】就学前の子供が新

しい学用品を手にする喜びは特別だ。就学前に新入学学用品費などを支給する考えは。

【教育部長】子育て施策に有効と考え平成30年度に予算化する。

【問】トイレがない愛知池運動公園テニスコートに設置の考えは。

【教育部長】利用者は管理棟北側のトイレを兼用している。利用者のニーズも少なくなく、安全面を考慮して隣接駐車場に来年度設置していきたい。



愛知池運動公園テニスコート

**Q：セントラル地区の税収入見込み予想は
A：年間、現在の2500万円⇒2億7200万円と予想**

加藤 宏明 議員



【総務部長】予想は難しい面もあるが土地区画

整理地内の税収は土地の固定資産税が約690万

円、土地の都市計画税が約200万円、家屋の固定資産税が約1億1800万

円、都市計画税が約400万円、合計で約2億4700

万円増加すると試算している。

【問】セントラル地区の市街化編入後、本町の市街化区域と市街化調整区域の面積及び土地に係る固定資産税額は。

【総務部長】町面積の約1/3の562haが市街化区域で約7億1300万円。

約2/3の124haが調整区域で約3億7300万円。

【問】農地からの固定資産税額と農地の数及び所有者数は。

【総務部長】筆数は5645筆、納税義務者は1350人、税額は約500万円。

【問】九州全土より多い40万haの所有者不明土地が存在している。本町においても農業継承者が激減しており、調整区域の田畑を相続されない恐れあり対策は。

【総務部長】税務課にも案内している。登記上で、所有者不明である土地の状況については国の事務であるため把握していない。



開発が進むセントラル地区

**Q：諸輪東部開発地域への進出企業件数は
A：企業誘致目標件数と同数の6件**



加藤 達雄 議員

【問】豊田知立線沿いで開発が進む諸輪東部開発の面積規模及び将来の拡張について問う。

【経済建設部長】現在4か所の指定区域合計面積12.7ha、既に開発済み及び手続き中が9.3haで約73%の進捗率で、拡張については、地元地権者様のご意向を踏まえ、愛知県と協議を進める考え。

【問】東諸輪交差点角地の開発事業が中断している、東部開発が停滞する様なことはないか。

【経済建設部長】確かにこの状態は好ましくない。当地に進出希望の意欲ある事業者せめ、協議を重ね、この地域の工業系土地利用を計画的に進め、企業誘致

を推進したい。

介護予防・日常生活支援総合事業

【問】総合事業は地域づくり。地域全体の支援体制強化を目指す整備事業をどう進めるか。

【福祉部長】地域支えあい協議体、コーディネートを中心地域資源の把握作業等進め、地域特性をつかみ皆さんの思いを具現化できる支援体制構築に時間をかけて検討を重ねたい。



豊田知立線沿いの事業所建設現場

**Q:生涯学習のメディアリテラシーの取組は
A:特にはないが近隣市の実施状況を調査したい**



國府田さとみ 議員

【問】給食の食物アレルギー対応の現況は。

【教育部長】食材の選定はアレルギー等を考慮。牛乳は豆乳に代替え提供。重症な生徒は弁当持参。詳細な献立表を配布し、保護者と学校で情報共有。

【問】除去食・代替食を行っていく必要は。

【教育部長】別添え提供できる食材献立を広げるよう努力し、乳アレルギーには毎月提供のヨーグルトの代替えを考慮。

【問】食物アレルギー対応委員会の設置は。

【教育部長】今後、研究していきたい。

【問】アレルギー対応に関する説明会を今より早い時期にできないか。

【教育部長】スケジュールを確認し研究したい。

主権者教育について

【問】児童会、生徒会において、児童生徒が主体的にルールを決めることは可能か。

【教育部長】校内での生活に関するルールを決めることは可能。

【問】本町が目指す真の主権者教育とは。

【教育部長】学習指導要領に則った教育内容を行っていく。



文部科学省発刊 主権者教育読本



Q：道の駅の事業費・運営費は
A：未定。今年度中に決める

門原 武志 議員

【問】道の駅の敷地・建物の取得費用など事業費と、運営・修繕費用は誰が負担するのか。

【経済建設部長】民間事業者との対話、国道管理者と調整し、今年度中に決める。

【問】民間事業者からの提案で示された規模は。

【経済建設部長】提案には民間のノウハウも含まれているので公開しない。

【問】民間に運営を委ねるとされる地域振興施設の運営・修繕費用は誰が負担するのか。

【経済建設部長】収支に関わらず民間事業者による独立採算を想定。

AEDの設置

【問】24時間開いている

コンビニにAED（自動体外式除細動器）を設置させてもらっては。

【総務部長】まずは公共施設への設置と救命講習受講者増に取り組み。

消防広域化

【問】尾三消防組合への豊明市・長久手市の加入で、東郷町の組合への負担はどのようになるのか。

【総務部長】各市町の分担金の算出方法は、広域化後の3年で決めるので未定。



とよあけコンビニAEDマップ
(豊明市ホームページより)

第9回議会報告会・意見交換会

平成29年11月25日、9回目の議会報告会・意見交換会を開催しました。6月議会と9月議会の報告、傍聴規則の変更、また、議会基本条例作成の進捗状況について報告させていただきました。報告への質疑・意見交換会では、参加されたみなさまから多くのご意見をいただきました。

参加者からの主なご意見

- 議会基本条例は、パブリックコメントだけでなく直接町民の声を聞く機会を設けたほうが良いと思う。
- 一般質問の動画配信などされているが、議会の発信力はまだまだ足りないと感じる。
- 委員会傍聴をしたが、なかなか行きづらい雰囲気がある。議会と町民の距離を縮めるような改善を望みたい。

今回も貴重なご意見を多数いただきました。今後の議会運営の参考とさせていただきます。



議会運営委員会 県外研修

■静岡焼津市

第48回衆議院議員選挙中（10日告示、22日投票日）の視察であり、視察項目の説明は議会事務局の対応で説明いただきました。

★会派制等について説明のあった主なものを箇条書きします。

- ・会派は最低3名、政党会派は2名で構成。4会派あり無会派1名。
- ・政策提案の際、事務局はタッチせず、毎年一般紙に掲載される。
- ・議会人事はすべて会派間で調整して決める。議運7名は最大会派4名で他会派各1名。
- ・会派室のパソコン、コピー機は政務活動費で設置。
- ・陳情・請願は議連の委員協議会で協議の上趣旨採択する。

■静岡県田方郡函南町

★会派制等について説明のあった主なものを箇条書きします。

- ・最大会派は事業計画の修正・助言を行い、要望事項をまとめて毎年12月に当局に提出。
- ・必要に応じて議題は会派ごとに意見集約するので全員協議会より効率的。
- ・本町と同レベルの自治体であるが会派がしっかりしており、会

議会運営委員長 箕浦 克巳

派室も十分すぎるほど充実しており議会の歴史を感じた。

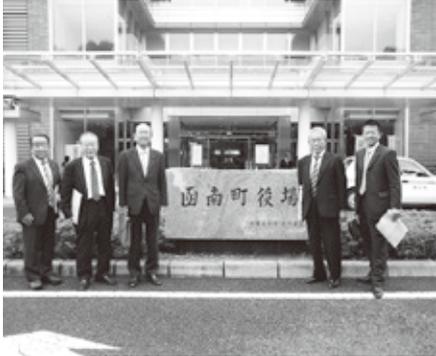
・定例会の会期が予算3月議会、決算9月議会以外は10日以内と比較的会期が短い。

■研修を終えて

住民の要望が請願、陳情が従来に増しているような形で増えてくることに対して今後の対応準備が必要など意義ある研修でした。

また焼津市は月に1度「定例」全員協議会を開催しており、全議員が情報を共有し、議会一丸となって結論を導いていくために本町議会でも導入を検討すべきものだと感じました。

議会運営委員長 箕浦 克巳



函南町議会

委員会の活動

文教民生委員会 県内研修

文教民生委員会は、少子高齢化

について学ぶため、11月8日(木)に半田市、東海市を訪れました。両市ともに人口11万人強で、半田市は古くから醸造の町として栄え、知多半島の行政、教育の中心市。東海市は、国内有数の鉄鋼生産地として両市特色ある事業を垣間見ることができました。

半田市では、子育てに関する3つのテーマを学びました。

「子育て短期支援事業」は、人口規模から設置不要の「児相」事業を展開し窮地の母子を未然に救う素晴らしい事業紹介に感激しました。

「子育て家庭支援事業（はぐみん）」は協賛店舗数154店と本町の約7倍あり、カードの全国使用は可能であるもの市内の子育て応援の心意気を感じることができました。

「病児保育げんきの芽」は、新規事業にもかかわらず施設を市役所・市民病院の目の前に設置した

事に着目しました。

東海市は、製鉄所進出当時、多くの団塊世代が移り住む団地の高齢化も進み、住み慣れた街で安心した生活をおくれる基盤整備「地域支えあい活動」事業の必要性から、見回り、サロン開設、日常生活支援活動に対して助成し、協働事業として平成24年度から継続中で、息の長い事業と再認識しました。

文教民生委員長 加藤 達雄



半田市病児保育施設 げんきの芽

総務経済委員会
県内研修

■「道の駅」県内視察研修

担当常任委員会としても、まずは、愛知県内の「道の駅」を行政関係者や道の駅責任者、指定管理者など総合的に意見を聴き、各方面から「道の駅」を研究するため「藤川宿」と「もつくる新城」の県内2カ所を視察してきました。

藤川宿は岡崎市の北東に位置し、1日当たりの交通量が5万台を超える国道1号線沿いにあります。年間約120万人の利用客があり、地域の藤川まちづくり協議会と連携し、特産のむらさき麦を軽食コーナーや商品開発に利用し、年間売上は5.9億円。

もつくる新城は敷地面積1haと小規模ながら28年度利用者は146万人、売上利益140百万円、営業利益



もつくる新城の外観



藤川宿の野菜売り場

総務経済委員長 加藤宏明

22百万円と好調。利益の20%を新城市に還元しているとのこと。他県の方は、新城市を「しんしろ」と読めないのか、とにかく、長い物「1mのパウムクーヘン」「115cmの五平餅」「30cmのホットドッグ」など、話題性やインスタ映えする商品を開発しています。

本町においても国や県の交付金を利用し、地域の活性化や地域おこしなど様々な思いを込めた「道の駅」により、若者から高齢者の雇用や地域コミュニティを活用しながら、本町を全国に発信させる起爆剤になればとの印象を持ちました。

議会活性化特別委員会
議会基本条例に関する小委員会

県外研修

議会基本条例の制定過程について学ぶため、静岡県袋井市議会と神奈川県大和市議会に伺いました。いずれの議会でもパブリックコメントなどで住民の意見を聴き、全会一致で議会基本条例を可決しています。

袋井市議会では、条例案についてパブリックコメントを実施したところ、1人から5

件の意見が寄せられました。「自治会連合会長会議」でも説明しましたが、特に意見はなかったとのことでした。このことについて「市民と直接関係がないことだからではないか」との説明がありました。

一方、大和市議会では、パブリックコメントでは8人か

ら60件の意見が寄せられました。また、議会は、市民への条例案の説明会も実施、63人の市民が参加し50件の意見が出されたとのことでした。これらの意見を検討した結果、議会基本条例は普段から常に直すのではなく、一定の期間を区切り見直すことにしたことです。

東郷町議会でも、パブリックコメントだけでなく、住民から直接意見を聴く機会も必要だと思いました。多くの住民から意見を寄せていただくために工夫したいと思えます。

議会基本条例に関する小委員会委員長 門原武志

今さらですが

議会を知ってほしい

最近、議会や地方政治がドラマで取り上げられたりしましたが、なかなか「議会」って、身近に感じていただけないようです。

そこで今回は、「東郷町議会って何をしてるの？」を、簡単に、ほんの一部ですが、ご紹介したいと思います。

Q: 議員って何人いるの？



16人です。東郷町議会は現在、男性が11人、女性が5人で構成されています。



Q: 議会はいつやるの？



年に4回「定例会」が開催されます。そのほかに緊急に開催される「臨時会」もあります。定例会は3の倍数月（3月、6月、9月、12月）に開かれます。



Q: 議会では何をしているの？



簡単に言ってしまうと、議会に、町民のみなさんから集めたお金の使い方を役場（町長）から提案されるので、それに「○」か「×」をつけます。もちろんやみくもに判断してはいけませんので、議員は日ごろから正しい判断をするための勉強（情報収集、知識習得、先進事例の研究など）をしなければなりません。



1回の定例会の流れは、

①開会

議員に集合がかかります。

②議案の上程・提案説明

役場（町長）から提案されます。

③一般質問

議案とは関係なく、町政全般について質問する機会になります。

④議案質疑

議案について質問する機会になります。

⑤委員会審査・報告

議案について詳しく説明を聞き、詳しく質問をしてどのような判断をすべきかを決定します。その決定は、委員長が報告します。

⑥討論・採決

議案に対して、討論で自分の判断理由を述べ、「○」か「×」かを表明します。全員の意思が同じでない場合は、多数決で決まります。

⑦閉会

今後も「議会を知ってほしい」思いをお伝えしてまいります。

スマホで議会

(会議動画配信)



東郷町議会では、平成25年第2回定例会(6月議会)から一般質問を、平成26年第2回から常任委員会審査を、youtube(インターネット無料動画サイト)にて配信しています。

ご自宅で、お手元で、東郷町議会を「傍聴」できます。

ぜひ、議会を身近にお感じください。



QRコード読み取りアプリで東郷町議会録画映像配信のページを開くことができます。

みなさまのご意見大募集!!

議会の果たすべく役割を十分に踏まえ、住民のためにある議会であるよう努めてまいります。

- **議会に質問**
(特に子どもからの質問大歓迎)
- **議会にももの申す!**
(議会へのご意見・ご要望)
- **傍聴レポート**
(議場のお気づきをお聞かせください)

など、ご意見・ご質問をお寄せください。

【宛先】 東郷町議会 広報広聴委員会

〒470-0198

愛知県愛知郡東郷町大字春木字羽根穴1番地

TEL.0561-56-0754

表紙の写真

「まちではたらくひと」

今回の「まちではたらくひと」は、町内で塗装業をされている岡さんです。

29歳で双子のお子さんを持つパパ。

お仕事には、「ただ塗装するのではなく、もう一度お願いしていただけるよう真心を込めています。」と、強い志をお持ちの「まちの職人」でもあります。



まちではたらくひと、大募集中!

東郷町議会 議会事務局 ☎ 0561-56-0754

お詫び

125号11ページに掲載しました門原議員の一般質問の写真「猿投・高浜断層帯の震度分布図(M7.6)」につきましては、名古屋市中が中央防災会議の資料を元に作成されたものを掲載しております。紙面上に作成元情報の記載が漏れていたことをお詫びいたします。

平成30年3月定例会の日程

2月26日(月)	開会(議案上程)
3月2日(金)	一般質問
5日(月)	一般質問
7日(水)	一般質問 議案質疑
9日(金)	予算特別委員会
12日(月)	予算特別委員会
14日(水)	総務経済委員会
15日(木)	文教民生委員会
23日(金)	閉会(討論・採決)

編集後記

今号がみなさんのお手元に届くころ、平成30年第1回定例会、いわゆる3月議会がはじまります。早いもので現在の委員会構成になって19年度経とうとしています。

今年度は、議会だよりがみなさんに近い存在になるよう、表紙の写真に町内で働く方々をテーマとしてみました。また、ご自宅で、お手元で議会に触れていただけるよう、議会の動画配信をQRコードでご案内してみました。議会がさらに身近になるよう、議会だより速報版・議会SNSなど、委員が総力をあげて現在準備中です。

今後、お気づきご意見などありましたら、ぜひお寄せくださいませ。

広報広聴委員長 水川 淳

広報広聴委員会

委員長

水川 淳
石橋 直季
新家 光江
加藤 達雄
加藤 宏明
若園 啓二
箕浦 克巳

副委員長